

会 議 要 旨

会議名	平成28年度 館山市立博物館協議会
開催日	平成28年7月15日(金)
開催場所	館山市中央公民館 第1学習室
出席者	館山市博物館協議会委員 ○梶山 林繼 ○清本 正人 ○池田 俊郎 ○石井 則子 ○須田 啓子 館山市 ○出山 裕之 ○山口 浩一 ○田辺 健一 ○船水 裕康 ○岡田 晃司 ○小林 俊彦
公開・非公開の別	公開 一部非公開 非公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<p>【概要】 博物館の事業実績・事業案をもとに、運営状況、課題等を報告し、目指す方向性、入館者数(収入)増に繋がる運営について、意見交換を行った。 平成29年度に実施を予定する博物館入館料の改正について、改正根拠、案を提示し意見を求めた。</p> <p>【運営報告】 (1) 運営状況 市内利用者の利用率は低く、市外者利用者が大半を占める。市外者は、館山の観光繁忙時期(春・夏季)に集中市外者を確保しつつ、市内利用者の増加に努めたい。運営にあたり収入の増・経費の削減に努めている。</p> <p>(2) 委員からの助言・提案等 ○市内地域文化・歴史の魅力を伝える企画が弱い。地域住民の関心をひく工夫を凝らして欲しい。 ○博物館のPR方法は多種多彩である。収蔵品を積極的に他博物館の展示に貸出していくことで、施設PRを実施している博物館の事例がある。経費も抑制でき、館山市も参考にしたい運営方法の一つである。 ○博物館内だけの活動でなく、学校事業等と連携して活動範囲を広げるなど、業務方法を再検討するべきである。 ○渚の博物館は、海に訪れる観光客を意識するべきである。館山湾の魅力を伝える配慮、サービスが不足している。充実を図るべきである。 ○渚の博物館での子供の関心事は漁労具の展示より海辺の広場である。海辺の広場は自然・環境・生物について学べる施設として一層の工夫して欲しい。</p>

【博物館入館料の改正】

(1) 状況報告

昭和 57 年から入館料を徴収し、博物館の運営維持をしてきた。施設の経年劣化により、発生する施設補修費は博物館運営に大きな負担。

利用者の安全確保、適切な施設環境の維持が難しい。

平成 29 年 4 月から料金を改正し、適切な施設運営・環境維持に努めたい。

(2) 委員からの意見・助言等

館山市に限らず財政難で博物館の事業費は削減されている。

どの博物館も自己財源を確保することが最重要課題である。

入館料の見直しもその一つである。併せて入館料以外で収入増となる運営方法を検討して欲しい。